



質問順 2 番

AM 11:00 後  
令和5年11月24日

若桜町議会議長 山根 政彦 様

若桜町議会議員 ( 8 番)

中尾 理明



一般質問の通告について

次の事項について、会議規則第61条第2項の規定により質問の通告をいたします。

記

質問事項	質問要旨 (具体的に)	質問の相手
1 国保事業に関連する事項について	(1)国保県統一化についての令和5年度の鳥取県の国保運営方針を伺うと共に、改めて県統一化について、町はどのように考えているか伺います。	町 長
	(2)令和4年3月定例会で、国が未就学児の均等割額を2分の1とする制度の施行に対応し、町が残り2分の1を補助し子どもの均等割を無料化する提案を行った。令和4年度の未就学児を抱える世帯全部の未就学児均等割2分の1の合計金額を伺う。	町 長
	(3)今物価高騰が止まらない中、子育て支援、保護者の経済的負担軽減により、町の経済対策にも資する施策として、改めて未就学児の均等割2分の1を補助することを提案するものである。このことへの所見を伺います。	町 長
	(4)国は、来年度秋以降現行の紙製保険証を廃止し、マイナ保険証による受診に移行することに固執しているが、厚労省調査によると、先月10月のマイナ受診率は4.49%であったことが分かった。ピークだった4月の6.3%から減少が続いている。暗証番号の失念とか、紛失後再発行されるまで期間がかかる問題など使いにくさが故にマイナ保険証利用に不安が広がっている。国は、マイナ保険証への一本化を中止し、マイナ保険証と共に引き続き現行の紙製のものが使えるようにすべきではないかと考えるが、町長の所見を伺います。	町 長

質 問 事 項	質 問 要 旨 （具体的に）	質 問 の 相 手
2 町内のラジオ放送聴取困難について	<p>昨年の議員座談会で、町民から AM、FM ともラジオ音声が届きにくい、防災面でも問題なので難聴解消を求めるとの意見が出された。昨年の座談会のまとめに記述されている。主として、NHK 放送への意見であると思うが、現在町内では、NHK 第 2 放送と民放の聴取が困難である。また NHK 第 1 放送及び NHK の FM 放送両方共が聴取困難な地域がある。放送業界では、2028 年をめざし、主として民放が AM から FM への一元化を目指して準備を進めていると伝えられている。NHK もその動向を視野に入れ、FM 一元化に動くのではないかと推測できる。災害時の停電に対応する大切な通信手段の一つがラジオ放送である。若桜町内のラジオ難聴地域の解消について伺います。</p>	町 長
3 伝建地区保存・活用について	<p>（1）9 月定例会で、この件について、令和 4 年度決算認定に当たって、議会が口頭により執行部へ伝えた意見として、「この事業は町の観光に波及させる事業本来の目的に沿った取り組みが必要である」とまとめたところであるが、町の取り組みが、十分に説明されていないと考える。取り組みの現状を伺います。</p>	町 長
	<p>（2）町並みの特徴の一つ、カリヤ通りについて、その姿が見事に残っている中尾邸などわずかに残るカリヤのある家屋で特定物件として認定されている家について、どのように保存・活用しようと考えられているか伺います。</p>	町 長
	<p>（3）蔵通りで、土蔵の壁などが崩れそうになっている家が見られる。また景観を損なう看板の掲げられた家があるままになっている。これらの修復、撤去は、所有者の同意が必要であることは理解するが、このまま放置されるなら、町歩きをする方々の印象を悪くするだけでなく、落下物により近隣の住民や通行者に被害が及ぶ恐れがあると思われる。町長の所見を伺います。</p>	町 長